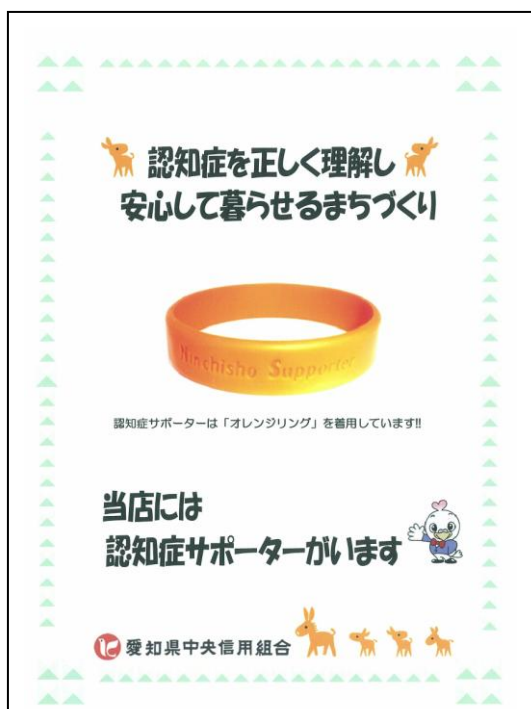


認知症サポーターについて

私たちは、CSR（企業の社会的責任）向上の一環として、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目的とした「碧南市認知症サポーター養成講座」を受講し、役職員195名（平成26年6月20日現在）が認知症サポーターとして認定を受け、その証である「オレンジリング」を着用して業務を行っています。



〈認知症サポーターとは？〉

認知症を正しく理解し、認知症をもつ人や家族を温かく見守る応援者として、日常生活の中で支援をする人です。何かを特別にやるということではありません。

〈今できることは？〉

- ① 来店者、友人、近隣の人など、認知症についてお困りの方に、相談窓口に関する情報を提供する。
- ② 渉外活動中または、当組合店頭及び店舗周辺で、困っている様子が見える人がいたら一声掛けてみる。

認知症はだれでもなる可能性のある病気であり、85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれています。他人ごととして無関心ではられません。

認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を支える手段を知っている人が増えれば、安心して暮らせるまちづくりに少しでも貢献できます。

私たちは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守り、地域で認知症を支えるサポーターとして活動していきます。

